

令和2年11月10日(火) 第3校時 指導者: HRT 3年担任 (T1)

ALT (T2)

JTE 中学校英語科教諭 (T3)

HRT 特別支援担任 (T4)

1 単元名 ALPHABET

～アルファベットとなかよし～

2 単元の目標

○身の回りにはアルファベットの文字であらわされているものがあることに気付き、アルファベットの大文字とその読み方に慣れ親しむ。 (知識・技能)

○アルファベットの文字の形を意識して、仲間分けをしたり、見つけたりする。

(思考力・判断力・表現力)

○相手に配慮しながら、アルファベット探しを出したり、答えたりしようとする。

(主体的に学習に取り組む態度)

3 関連する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。
話すこと (やりとり)	ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉活動をする上で必要な表現や語彙, Let's find The alphabet. /It's ~/That's right./Close!などを聞くことに慣れ親しんでいる。 〈技能〉活動をする上で必要な表現や語彙, Let's find The alphabet. /It's ~/That's right./Close!などの表現を聞き取る技能を身に付けている。	アルファベットが発音されるのを聞いて、仲間分けしたり、どの文字であるか分かったりしている。	アルファベットが発音されるのを聞いて、仲間分けしたり、どの文字であるかが分かり、友達のアルファベット探しを進んで聞こうとしていたりしている。
話すこと 「やりとり」	〈知識〉活動をする上で必要な表現や語彙, Let's find The alphabet. /It's ~/That's right./Close!などを話すことに慣れ親しんでいる。 〈技能〉活動をする上で必要な表現や語彙, Let's find The alphabet. /It's ~/That's right./Close!などの表現を伝え合う技能を身に付けている。	アルファベットの大文字の形を意識して、仲間分けをしたり、アルファベット探しに必要な表現を使って、出題したり答えたりしている。	アルファベットの大文字の形を意識して、仲間分けをしたり、アルファベット探しに必要な表現を使って、出題したり答えたりしようとしている。

5 指導上の立場

(1) 単元観

本単元は、アルファベットの文字を題材とする初めての単元となる。国語科「ローマ字」の学習では、大文字を書くという経験をしている。その中で、児童はローマ字に興味をもって意欲的に取り組んでいた。そこで、国語科「ローマ字」の学習と社会科の校外学習でローマ字を見つけた経験と関連させながら、アルファベットの大文字の導入をすることで、意欲的に学習に取り組めると考える。また、アルファベットを歌やチャンツ、ゲームなどの様々な活動を通して楽しみながらアルファベットの学習をするようにしたい。

本単元を通して、アルファベットの文字と発音を一致させながら、慣れ親しむことができるようにし、高学年での書く活動に繋げたい。

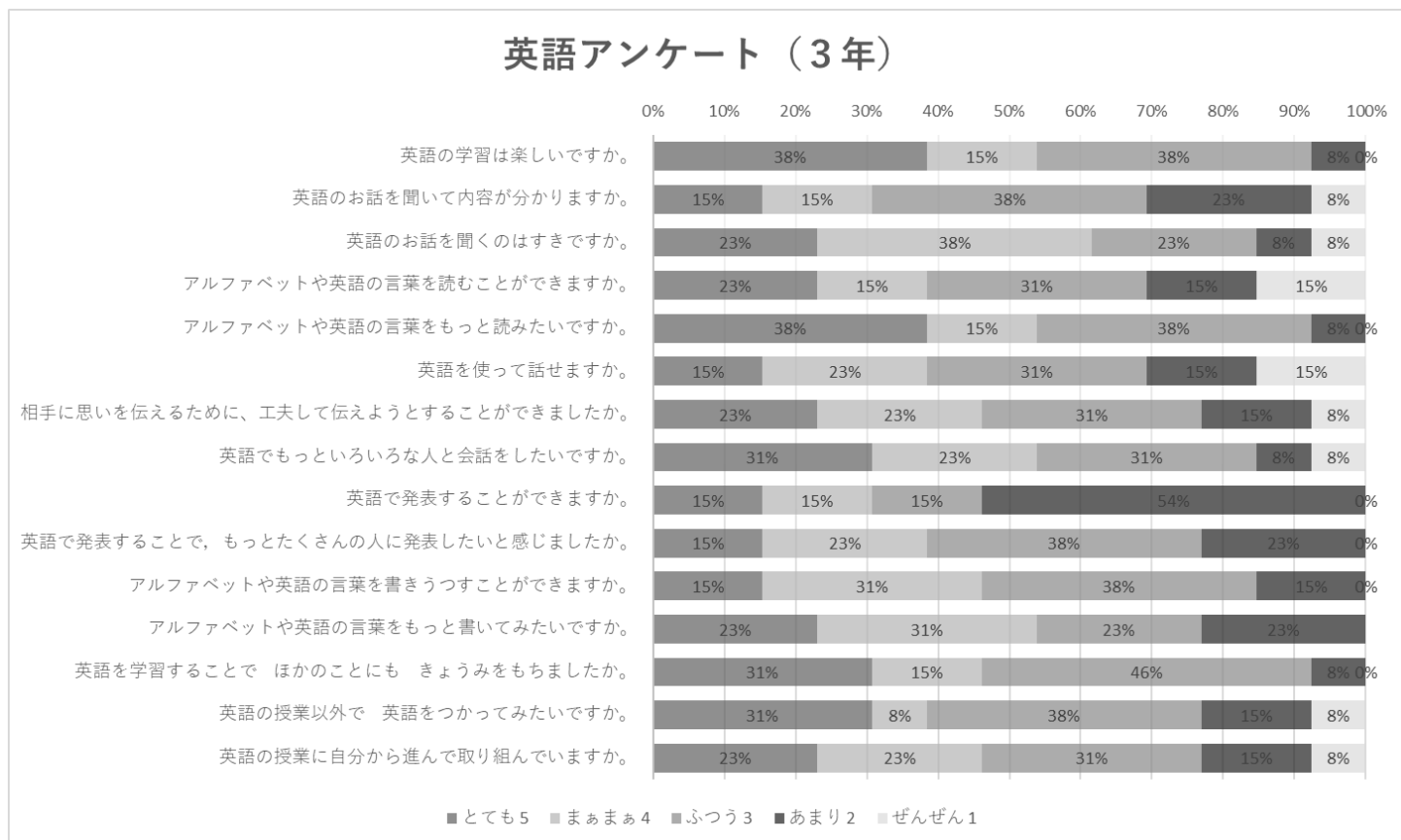
(2) 児童観（男子6名 女子8名 計14名）

今年度5月に行った英語アンケート（図1）では、「英語の学習は楽しいですか」に対して92%の児童が肯定的な回答をしていることが分かる。一方で「英語で発表することができますか」に対して54%の児童が否定的な回答をしていることが分かる。また、「内容が分かる」「発表したい」「もっと書きたい」に対して否定的な回答をしている児童が多いことが分かる。

そこで、グループやペアでの学習を取り入れたり、ゲームや歌の活動を増やしたりすることで、自信をもって楽しく学習ができるような工夫をしたい。

本時では、前時で見つけたアルファベットを自分でアルファベット探しにし、出題するという活動を通して、楽しみながら学習するようにしたい。また、ペアでの活動を取り入れることで、自信をもって出題したり答えたりできるのではないかと考える。

※図1：今年度5月に行ったアンケート結果



(3) 研究主題との関わり

本校の研究主題は「外国語に親しみ、進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成～本物で必然性のある外国語活動・外国語科を目指して～」であり、本校の考える仮説についての基本的な考え方は、次の3つである。

(仮説)

- 1 単元や発達段階の特性を踏まえて学習活動を工夫することにより、児童は、自分の思いや考えをもち、それを伝え合うための知識・技能を身に付けるであろう。
- 2 1単位時間または単元の中で、児童自身による評価（振り返り）や教師による評価を適切に行うことによって、児童は思考力・判断力・表現力を高めながら学習に取り組むであろう。
- 3 学習のつながりを意識して、様々な人々と関わることのできる単元（新本オリジナル）を構成することで、英語によるコミュニケーションの楽しさを味わい、より広い世界に目を向けるであろう。

### 1 について

アルファベットを使って「アルファベットさがし大会」をするということを単元のゴールにすることで、児童は、目的意識をもち、主体的に学習に取り組むことができるようになる。また、歌やゲームをするのが好きな児童が多いので、学習も歌やゲームを積極的に取り入れ、楽しんで学習をできるようにしたい。

本時では、アルファベットを見つける活動をクイズとして提示し、意欲的に活動できるようにしたい。ただ、クイズをして楽しかったということで終わらないように、答えることができたアルファベットはアルファベット表に印をつけるようにして、まだ出題されていないアルファベットを視覚的にとらえることで、生活の中でさらに見つけてみたいという意欲付けができるようにしたい。

### 2 について

単元を通して、担任、ALT、小中連携担当教員がそれぞれの観点で感じたことを児童にフィードバックする。主に、担任は単元全体を見通し、前時と比べたときの児童の様子を、ALTは発音や表現について、小中連携担当教員は児童がかかわり合う様子について見て、感じたことをその時間の終わりにそれぞれに伝えていく。そうすることで、次回の学習でどんな力をつけたいか、何を話せるようになりたいか、などを児童が考えることができるようにする。

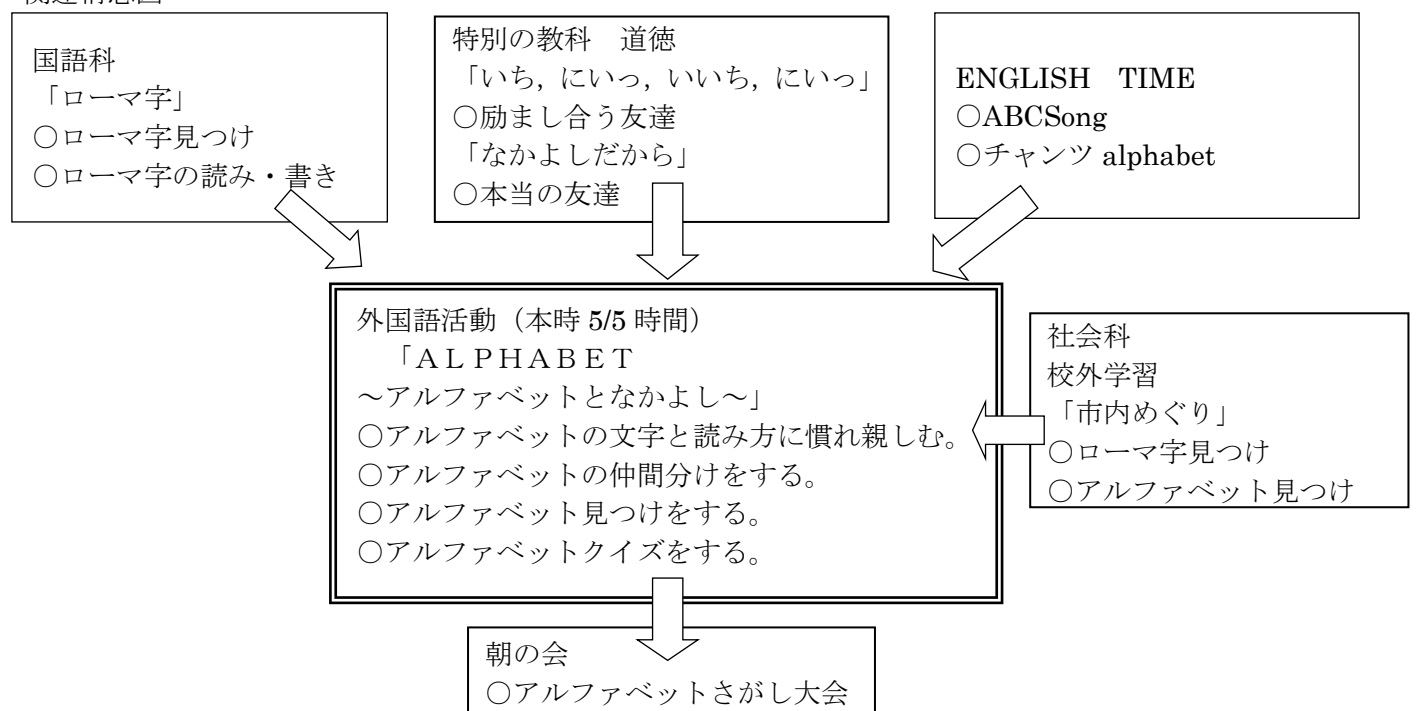
また、振り返りカードを使い、1時間ごとに達成度を振り返ることで、できたことと次がんばりたいことを自覚できるようにする。振り返りカードには×の評価を付けず、できたことを積み重ねる振り返りとして活用する。そうすることで、自信をもって活動に取り組むことができ、学びに向かう力が高められるようにする。

本時は、アルコールアルファベット探しに必要な表現を使って、出題したり答えたりする場面である。どうすれば楽しくアルファベット探しができるのか、相手に配慮しながら、アルファベット探しを出したり、答えたりすることで、児童の思考力が高められると考える。

### 3 について

国語科「ローマ字」の学習で、アルファベットの大文字は見たり、書いたりした経験がある。また、社会科の見学時にローマ字としてではあるが、アルファベットを見た経験がある。その経験と結びつけ、文字に対するハードルを低くして、この単元に入りたい。身の回りの物をアルファベットに見立てて見つけ、アルファベット探しを作ることで、アルファベットをより身近に感じられると考える。この単元を通して、アルファベットの文字が身の回りにたくさんあることに気付かせ、さらにアルファベットに興味や関心をもち、自分の生活と結びつけられるようにしていきたい。

### 6 関連構想図



7 本時案

(1)本時のねらい

- ・相手を意識して、アルファベット探しをすることができる。

(2)展開

学習活動	教師の指導・支援(●HRT, ■ALT, ▲JTE, ◆特担)	学習評価
<p>1 Greeting</p> <p>2 Warm up "Song" ♪ABC Song♪</p>	<p>●■▲英語で挨拶をした後、気分や天気、日付、曜日、好きなものなどについて尋ねることで、日常的に使える英語表現に慣れ親しむことができるようにする。</p> <p>■▲◆参加しにくい児童や困っている児童に声をかけたり、一緒に声を出したりする。</p> <p>●■しっかり声を出して歌うことで、楽しい雰囲気を作り、学習の意欲を高めるようにする。</p> <p>■▲◆児童の近くで一緒に歌うことで、安心して活動できるようにする。</p>	
3 Aim	<p>Aim アルファベットさがし大会をしよう。</p>	
4 Review	<p>●楽しくアルファベット探し大会をするために何が必要かを話し合うことで、コミュニケーションポイントやほめ言葉や認め言葉に気を付けるようにする。</p> <p>●■アルファベットさがしで使う表現の練習をすることで、流れを確認し、安心して活動に参加できるようにする。</p>	
<p>5 Activity</p> <p>・アルファベット探し (1回目)</p> <p>・中間交流</p>	<div data-bbox="360 972 788 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ Let's find the alphabet. ・ It's ~ ・ That's right!    ・ Close!</p> </div> <p>● 4人グループを2人ずつ、出題者と解答者に分けて行うようにし、ペアで順番を決めて出題したり答えたりする。困ったときは、お互いに助け合うようにする。</p> <p>■●▲◆アルファベット探しで使う表現に困っている時には、支援をする。</p> <p>■▲アルファベット探しのヒントを日本語でしている時は、それも認め、英語での表現の仕方を伝えるようにする。</p> <p>●困っているペアには、アドバイスの仕方を知らせるようにする。</p> <p>●答えられたアルファベットは、アルファベット表に印をつけることで、出題されていないアルファベットを探したいという意欲をもたせるようにしたい。</p> <p>●中間交流を行い、楽しくアルファベットさがしをしているグループを紹介することで、よさを全体に広げられるようにする。</p> <p>●使えなかった表現やジェスチャーを確認する。</p> <p>●■▲英語でのほめ言葉を確認し、すでに聞いたり、話したりしている単語でも、相手をほめることができることに気が付かせる。</p> <div data-bbox="360 1895 1078 1944" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>・ Great    ・ Good    ・ Nice</p> </div>	<p>◇アルファベット探しに必要な表現を使って、出題したり答えたりしている。</p> <p>【思・判・表】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">やり取り</span></p> <p>&lt;行動観察&gt;</p> <p>◇相手に配慮しながら、アルファベット探しを出したり、答えたりしようとしている。</p> <p>【主】 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">やり取り</span></p> <p>&lt;行動観察・書き込み点検&gt;</p>
・アルファベット探し (2回目)	<p>●相手を替えて問題を出し合い、新しい表現が使えるようにする。</p> <p>■▲相手に配慮しながら、アルファベット探しをすることができるかを確認しながら、机間指導する。</p> <p>●活動がはやく終わったペアには、先生にアルファベット探</p>	

6 Comment time	<p>しを出すように促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●振り返りシートに Aim に対する振り返りを記入し、本時での成長を実感できるようにする。</li> <li>●本時の学習で新たに学んだことや今後生かしていきたいことを記述することで、学びに向かう力を高められるようにする。</li> <li>◆特に支援を要する児童の様子を見たり、声をかけたりして、活動に参加できるようにする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な所にアルファベットが隠れているのが分かった。</li> <li>・ほめる言葉をたくさん使うことで、楽しいアルファベットさがしができた。</li> <li>・まだ、見つけていないアルファベットがあるので、これからも見つけてみたい。</li> </ul> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>●前時の様子を比べてよくなったところを伝え、できるようになった喜びを感じられるようにする。</li> <li>■発音や表現について気付いたことを伝えることで、今後がんばりたいことに気付けるようにする。</li> <li>▲児童がかかわり合う様子を見て、感じたことを伝えることで、今後がんばりたいことに気付けるようにする。</li> </ul>	
7 Greeting	<ul style="list-style-type: none"> <li>●■気持ちのよい挨拶をすることで、次時への意欲を高めることができるようにする。</li> </ul>	

(3)板書計画

<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>アルファベット表 Let 's Try! P. 22・23</p> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p><b>Aim</b> アルファベットさがし大会をしよう。</p> <p>Let's find the alphabet.</p> <p>It's ____ .</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p><input type="radio"/> That's right</p> <p><input checked="" type="radio"/> Close!</p> </div> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; width: 80%;">○Great !</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px; width: 80%;">○Good !</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: 80%;">○Nice !</div> </div> </div> </div>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="padding: 2px;">Greetings</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">Warm up</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">Review</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">Aim</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">Presentation</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">Practice</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">Activity</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">Comment time</td></tr> <tr><td style="padding: 2px;">Greetings</td></tr> </table>	Greetings	Warm up	Review	Aim	Presentation	Practice	Activity	Comment time	Greetings
Greetings											
Warm up											
Review											
Aim											
Presentation											
Practice											
Activity											
Comment time											
Greetings											

# Unit6 ALPHABET

～アルファベットとなかよし～

Grade

Name

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

## がんばるリスト

できた → とてもよくできた

アルファベットさがしに必要な表現を使って、わかりやすく伝えることができる。



アルファベットの大文字を正しく発音することができる。



友達や先生の発音を聞いて言っていることがだいたい分かる。



Date /	Aim	・がんばった・初めて知った・前と比べて ・難しかった・次回は…
Date /		
Date /		
Date /		
Date /		
Date /		

この学習を通して学んだこと・感じたこと

〈資料2〉本時で、児童が使うアルファベット表

〈アルファベット表〉

A	B	C	D	E
F	G	H	I	J
K	L	M	N	O
P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y
Z				





8 評価例と事後の改善策

<p>評価例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童1は、アルファベット探しの内容を考える場面では、アルファベットの形を意識して、仲間分けをしたり、見つけたりしていた。また、友達が楽しめるような工夫を考える場面では、励まし言葉や盛り上げ言葉を入れようと考えて、実践していた。そのため、「思考力・判断力・表現力」及び「主体的に学習に取り組む態度」において、「十分満足できる」状況（A）と判断した。</li> <li>・児童2は、内容を考える場面では、グループでの活動に参加できないことがあった。グループ同士でアルファベット探しを行うときでも、仲間分けをしたり、見つけたりすることができなかった。また、グループの友達と考えた工夫を取り入れることができなかった。そのため、この場面での「思考力・判断力・表現力」において「努力を要する」状況（C）と判断した。</li> </ul>
<p>事後指導</p>	<p>・児童2について、「努力を要する」と評価をしたため、その後の指導改善や学習改善につながる手立てを継続して行うようにした。Warm upで教科書のチャンツを用いるのではなく、思い入れのある自分たちのお気に入りの食べ物や動物をチャンツのリズムで言うようにした。新しい表現を学習する前には、ペアやグループでのPracticeの時間を設け、積極的に発言できる友達をまねながらやり取りの練習をして、児童2が自信をもって発音することができるようにした。アルファベット探しに答える場面では、児童2に改善が見られたため、本單元おける「話すこと」における「思考力・判断力・表現力」及び「主体的に学習に取り組む態度」において評価の総括を「B」とした。</p>

〈児童1のふりかえり〉

<p>楽しいアルファベットさがし大会にしよう。</p>	<p>今日アルファベットさがし大会をしてみんなで楽しくできてよかったです。もっといろいろな人を知りたいです。</p>
-----------------------------	--

〈児童2のふりかえり〉

<p>写真を見て「アルファベットさがし」をってくる。</p>	<p>アルファベットの形が、見つけられてよかったです。</p>
--------------------------------	---------------------------------

## 9 研究授業から得た反省と考察

### 言語活動の工夫について

- ABC Song では、アルファベットを指さしながら楽しく大きな声で歌うことができていた。
- アルファベット探しでは、グループ活動を取り入れることで、助け合いややり取りの場面が増えて、学習意欲が高まっていた。
- アルファベット探しの正解が一つではなく、また、不正解もないため自信をもって挑戦しやすい。
- アルファベット表を使うことで、26文字すべてを見つけたいというやる気を引き出していた。
- ▲アルファベット探しのやり取りをジェスチャー付きのデモンストレーションを行って説明するとよいのではないか。
- ▲アルファベット探しの活動時間を4分（2分×2）から増やすとよいのではないか
- ▲アルファベットの定着をどこまで求めるのかを再確認するとよいのではないか。

### 評価の工夫について

- 楽しいアルファベット探し大会を行うための表現がよく定着している。
- JTE から「You can do it!」などを引き出す使い方がよかった。
- ▲挙手していない児童も参加できるように、ワードやイラスト付きの掲示を使うとよいのではないか。
- ▲がんばるリストの使い方を工夫するとよいのではないか。（振り返り→発表→書く）

### 単元構成の工夫について

- 社会科見学で自分が撮った写真を使うことで意欲が高まっていた。
- しっかり学習したから高いレベルのアルファベット探しに必要な表現が自然に定着していた。
- JTE の「教室にもあるかな？」がさらにやる気を引き出していた。
- 活動の見通しをもっていたので、K 児も入っていた。
- ▲難しければレベルを下げて大丈夫。

### 福原先生から

#### 〈研究について〉

- ・ 研究仮説3つを、評価の観点に対応させるとよい。1つ目を、知識・技能を意識したものに再考するとよい。
- ・ 評価の研究よい。ただし、子どもに点数を付ける評価だけではなく、指導を改善するための評価を。ある子どもに「大きな声が出ない」という評価をした場合、次にどんな指導をしたか、という研究。どういう手立てをしたかを記録していくことに意味がある。大事なものはCをつけた子どもへの指導。

#### 〈授業について〉

- ・ コミュニケーションマナーは5・6年ならできて当たり前。あえてめあてにすることではない。評価すべきところは、I like I can が使えているかどうか。
- ・ 振り返りでは、「こんなことを知った。」という内容面と、「Do you like を使うと質問できる」という言語面が出るようにする。
- ・ 今後もやり取り中心の授業でOK。
- ・ 名刺交換をした後、それをもとにもっとやり取りが続く言語活動を設定するとよかった。



10 授業の実態



あいさつや質問などのやり取りに答える。



児童一人一人、発音チェック。



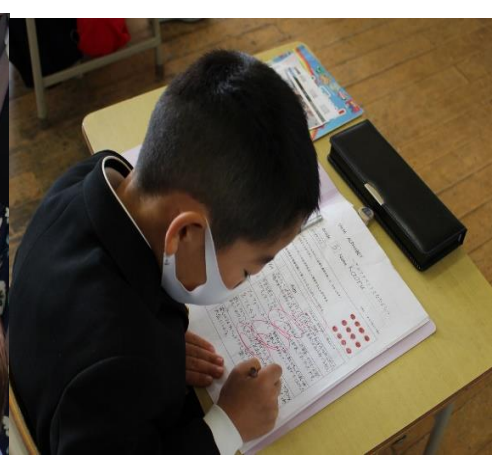
友達と協力してアルファベット探しを行う。



友達と協力して、ほめ言葉や盛り上げる言葉をかけ合う。



見つけたアルファベットを表に記入する。

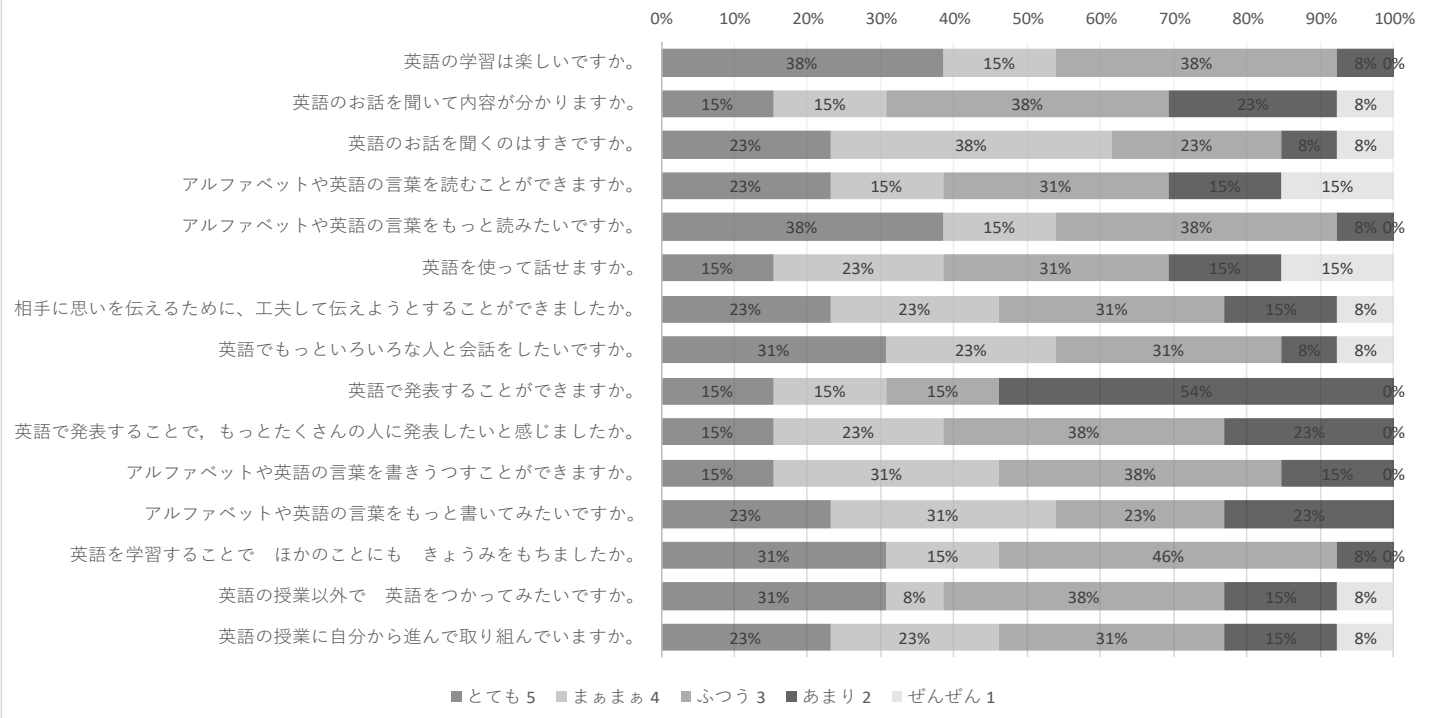


振り返りをワークシートに記入する。

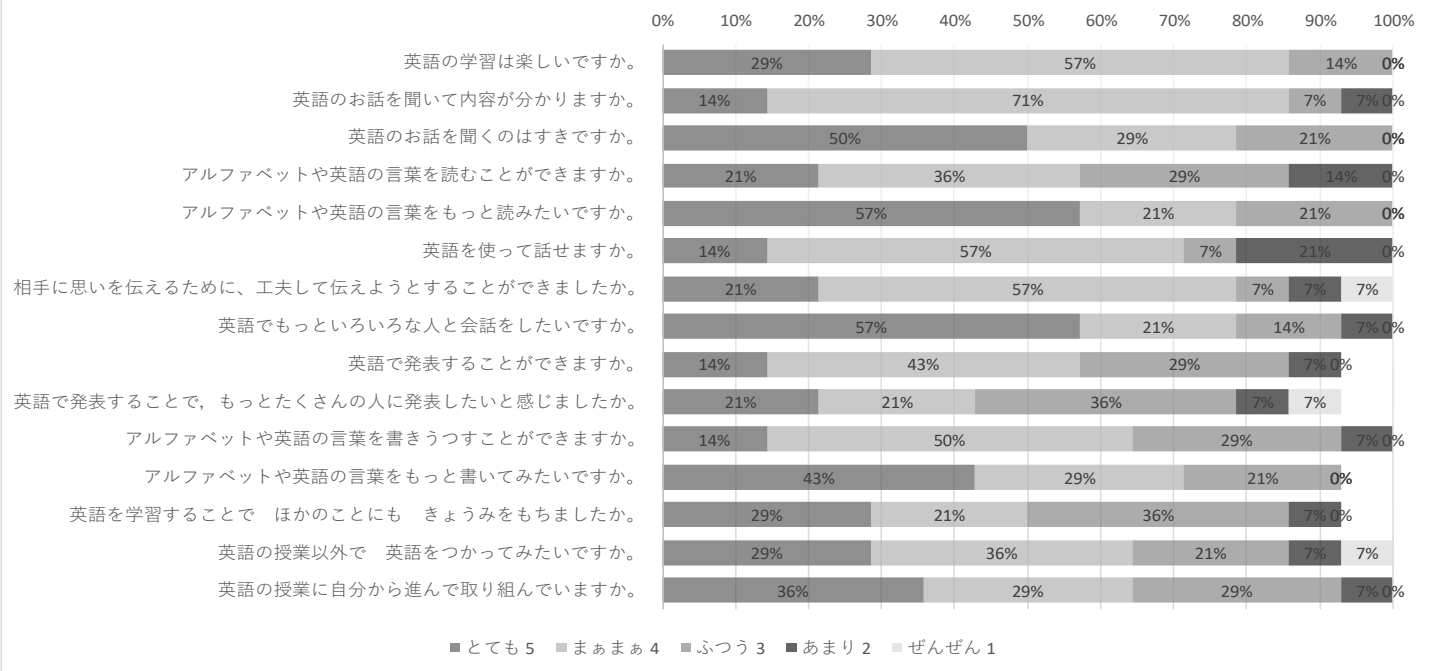
〈児童が作ったアルファベット探しカード〉



### 英語アンケート（3年）



### 英語アンケート（3年）



考察

- 「読むこと」「話すこと」「書くこと」への関心は高い。ALTとのSmall Talkの充実やゲームを取り入れた学習を通して、今までに習っている表現が活用できる楽しさや気持ちを伝えることの喜びを感じているのではないかと考える。
- 「英語の学習は楽しい」が12人、「ふつう」が2人。今後個別にも配慮しながら全員が「楽しい」と答えられる授業をめざす。
- 「読むことができますか」「話せますか」への肯定的な回答を増やしたい。関心が高くなっているところで、基礎的な知識・技能を身に付けることで、より意欲的に授業に参加する児童が増えるのではないかと考える。学力の向上を児童が実感できるように、さらに、授業を改善する必要があると感じた。